

令和2年度 安全科学研究部門講演会
「安全な社会を支えるリスク評価研究」

開催日時 令和3年2月10日(水) 13:30～17:10

[プログラム]

13:30～ 13:40	開会挨拶 小原 春彦 (産総研 理事/エネルギー・環境領域長) 主催者挨拶 緒方 雄二 (安全科学研究部門 研究部門長)
13:40～ 15:50	「社会課題の解決を志向するリスク評価研究～福島での線量評価を中心に～」 内藤 航 (リスク評価戦略グループ 研究グループ長) 「休廃止鉱山における坑廃水の利水点等管理:産総研における取り組み」 岩崎 雄一 (リスク評価戦略グループ 主任研究員) 「国連の爆発物分類試験における産総研の貢献」 薄葉 州 (爆発安全研究グループ 招聘研究員) 「安全科学研究部門が取り組む新たな研究課題」 蒲生 昌志 (安全科学研究部門 総括研究主幹) 「産総研連携制度の紹介」 内藤 茂樹 (エネルギー・環境領域研究戦略部 イノベーションコーディネータ)
	(休憩 10分)
16:00～ 17:00	ショートプレゼンテーション・ポスター発表 「日常食を介した無機ヒ素摂取による健康影響調査のための曝露バイオマーカーの開発」 小栗朋子、篠原直秀

	<p>「低毒化ガスジェット装置用推進薬の安全性確認に関する研究」 松村知治</p> <p>「災害・事故事象に対応する迅速拡散予測手法の開発」 小野恭子、石川百合子、恒見清孝</p> <p>「セルロースナノファイバーの排出・暴露評価」 小倉勇</p> <p>「Co-benefit / Trade-off Assessment of Ammonia Energy Carrier and Nitrogen Oxide Recovery」 Mianqiang Xue</p> <p>「AI によって研究開発を「超」効率化する革新的実験計画法「Multi-Sigma」」 河尻耕太郎</p> <p>「気象データに基づく近年の気象変化に関する検討」 近藤康彦</p> <p>「セルロースナノファイバーの吸入および生態影響の評価」 藤田克英、眞野浩行</p> <p>「新型コロナ感染症対策に資する交通車両及び大規模集客施設等における換気等の計測と評価」 篠原直秀、内藤航</p> <p>「リレーショナル化学災害データベース(RISCAD)と事故分析手法 PFA®」 牧野良次</p> <p>「現場保安チェックポイント集事業概要」 牧野良次</p> <p>「都市部における老朽化したコンクリート構造物改修のための部分破碎技術に関する研究」 高橋良堯</p> <p>「窒素循環技術の環境影響評価」 恒見清孝、玄地裕、田原聖隆、塚原建一郎、 林彬勲、井上和也、薛面強</p>
--	---

	<p>「海洋プラ・マイクロプラの環境リスク評価」</p> <p>蒲生昌志、内藤航、篠原直秀、岩崎雄一、 眞野浩行、梶原秀夫、石川百合子、恒見清孝、 林彬勸、小倉勇、小野恭子、Mianqiang Xue</p>
<p>17:00～ 17:10</p>	<p>研究顧問からのコメント</p> <p>平尾 雅彦 (東京大学 大学院工学系研究科教授)</p>
<p>17:10</p>	<p>閉会挨拶・終了</p>